

小松節子の ハートフル メッセージ



カンボジア&ベトナム視察ツアーに参加して①

私が副会長を務める広島アセアン協会が、2月9日から15日の日程で、カンボジア&ベトナム視察ツアーを行いました。ツアーには19人の方が参加され、私が団長の大役を担いました。今回と次の2回にわたり、ツアーの様子を報告します。

カンボジアでは、首都プノンペンにある在カンボジア日本国大使館、JICA、カンボジア日本人材開発センター、キリングフィールド、ひろしまハウスやマツダ販社ミエンチャイ店などを訪れました。

心に印象深く残ったのは、NPO法人のカンボジアひろしまハウス協会が運営、経済状況が苦し

い家庭の児童に教育と給食の支援を行っているひろしまハウスです。私がハウスを訪問したのは2016年以来、2回目。運営に際しては、これまで、寄付が大きな柱でしたが、今後は協会だけで運営を担える組織に、との思いを聞き、うれしく思いました。

胸が締め付けられる思いを抱いたのは、ポル・ポト政権下(1975〜79年)で、大量虐殺が行われた刑場跡(キリングフィールド)を見学したとき。処刑された人々の骸骨を積み上げた場所があり、

現地ガイドさんから殺害の様子などを聞きながら、遠い過去の歴史ではないことを正しく知ることができました。

その影響があつてか、カンボジアの訪問先で対応していたいたのは、40歳代以下の若い人ばかりで、マツダ販社の社長も40歳代でした。カンボジアは、過去、数十年の間で急速に経済成長を遂げつつある国の一つです。若い人たちの目がキラキラと輝いていたのが印象的でした。(メンテックワールド社長)



ひろしまハウスで